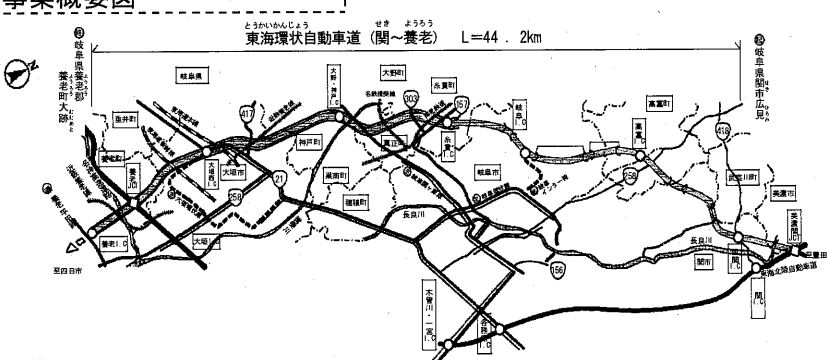


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道475号東海環状自動車道 関～養老	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局											
起終点	自：岐阜県関市広見 至：岐阜県養老郡養老町大跡	延長	44.2 km													
事業概要	<p>東海環状自動車道は愛知・岐阜・三重の諸都市を環状に連絡し、国土開発幹線自動車道や名古屋圏の自動車専用道路等と広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格道路である。このうち関から養老間は、東海北陸自動車道と名神高速道路を連絡し、地域の活性化に寄与するものである。</p>															
H 6 年度事業化	H 8 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 13 年度用地着手	H 年度工事着手													
全体事業費	約 5,100 億円	事業進捗率	1 %	供用済延長	— km											
計画交通量	20,300～29,700 台/日															
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (事業全体) 1.7</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 1.7</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.7	(残事業) 1.7	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業/事業全体) 3815 / 3856 億円</td> <td style="width: 50%;">(事業費 : 3501/3542億円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">維持管理費 : 314/314億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業/事業全体) 3815 / 3856 億円	(事業費 : 3501/3542億円)	維持管理費 : 314/314億円		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業/事業全体) 6398 / 6398 億円</td> <td style="width: 50%;">(走行時間短縮便益 : 5863/5863億円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">走行費用減少便益 : 382/382億円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">交通事故減少便益 : 154/154億円</td> </tr> </table>	総便益 (残事業/事業全体) 6398 / 6398 億円	(走行時間短縮便益 : 5863/5863億円)	走行費用減少便益 : 382/382億円		交通事故減少便益 : 154/154億円		基準年 平成 15 年
B/C (事業全体) 1.7	(残事業) 1.7															
総費用 (残事業/事業全体) 3815 / 3856 億円	(事業費 : 3501/3542億円)															
維持管理費 : 314/314億円																
総便益 (残事業/事業全体) 6398 / 6398 億円	(走行時間短縮便益 : 5863/5863億円)															
走行費用減少便益 : 382/382億円																
交通事故減少便益 : 154/154億円																
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（分散導入機能、バイパス機能） ・個性ある地域の形成（中京圏における主要プロジェクトの支援） <p style="text-align: right;">他17項目に該当</p>															
関係する地方公共団体等の意見	<p>35市町村長及び35市町村議会議長で構成される東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会と他3団体を中心に東海環状自動車道の建設促進の要望を受けている。</p>															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>中京圏は三大都市圏の中でも自動車交通への依存度が極めて高く、東海環状自動車道が接続する各高規格道路及び周辺の幹線道路への負担が高まっている。</p>															
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成13年度より用地買収に着手している。</p>															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・20年代初頭より一部区間の暫定2車線供用を開始する予定 ・20年代中に全線暫定2車線供用を開始する予定 															
施設の構造や工法の変更等	<p>新技術・新工法や現地の状況変化を確認しながら、積極的にコスト縮減を図る。</p>															
対応方針	事業継続															
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>															
事業概要図	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>東海環状自動車道（関～養老） L=44.2km</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">凡例</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■■■■■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■■■■■</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■■■■■</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○○○○○</td> <td>調査中</td> </tr> </table> </div> </div>					凡例		■■■■■	供用中	■■■■■	事業中	■■■■■	再評価箇所	○○○○○	調査中	
凡例																
■■■■■	供用中															
■■■■■	事業中															
■■■■■	再評価箇所															
○○○○○	調査中															

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。